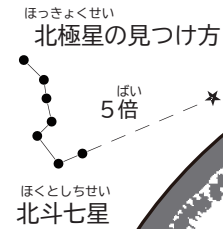
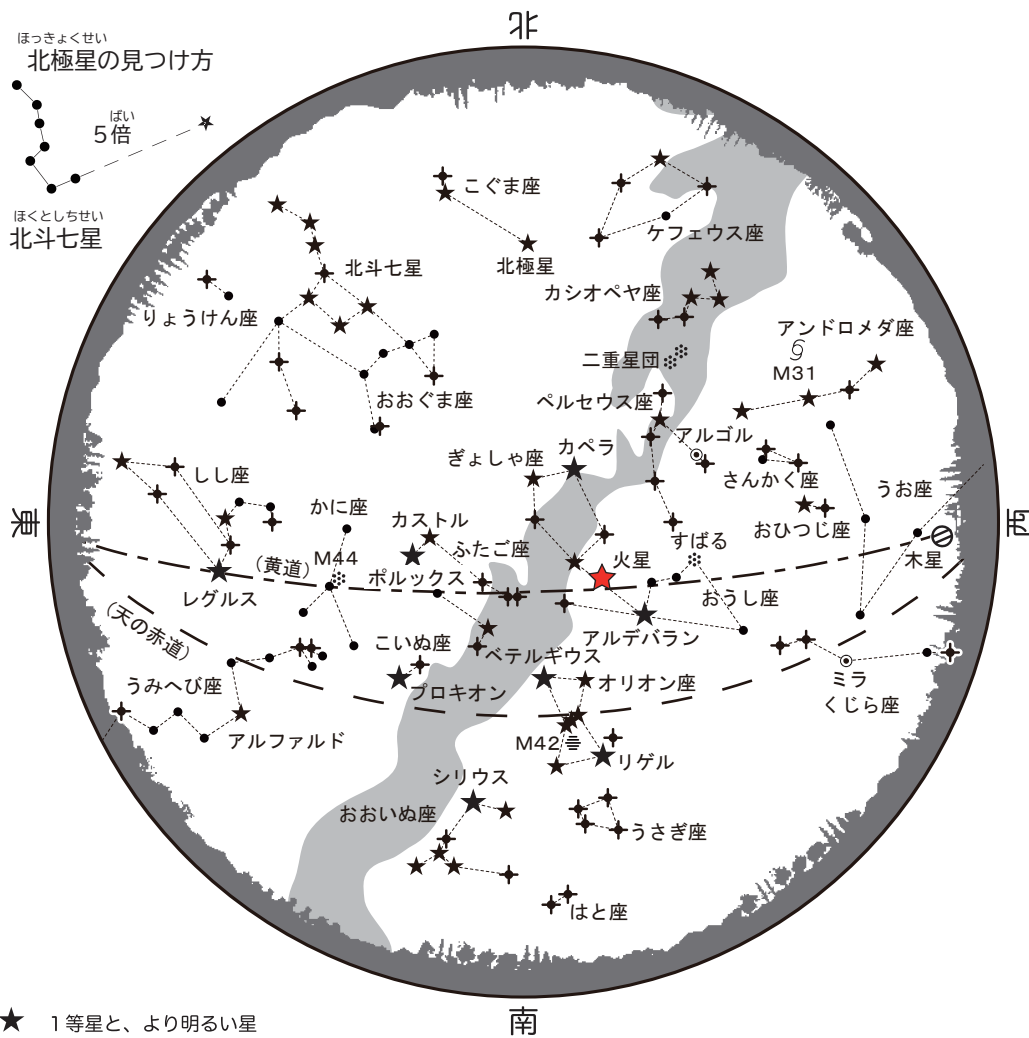


富山でみえる 2023年2月の星空

自分の見たい方向を下にして、その方向の空を見よう。



- ★ 1等星と、より明るい星
- ★ 2等星
- ✦ 3等星
- 4等星と、より暗い星
- ◎ 変光星
- ※ 星団
- ≡ 星雲
- ♁ 銀河

～この星空が見えるのは～		～月のようす～	
2月 6日	満月 ○	2月 6日	満月 ○
2月 5日 午後9時ころ	下弦 ◐	2月 14日	下弦 ◐
2月 20日 午後8時ころ	新月 ●	2月 20日	新月 ●
3月 5日 午後7時ころ	上弦 ◑	2月 27日	上弦 ◑



オリオン座

リボンのような形をした星の並びがオリオン座です。左上の赤くて明るい星がベテルギウス、右下のやや青みがかった明るい星がリゲルです。またこの星座には、オリオン大星雲 (M42) と呼ばれる星雲があります。



ふたご座

冬の大きな三角の上で、仲良く並んだ2つの明るい星がふたご座の目印です。黄色っぽい1等星が弟の星ポルクス、白い2等星が兄の星カストルで、色の違いがきれいです。肉眼でひとつに見えるカストルを望遠鏡で見ると白い星が2つ並んで見えます。



ぎょしゃ座

ぎょしゃとは馬車の運転手のことです。黄色の0等星カペラと、カペラをふくむ五角形の星の並びが目印です。カペラは「小さな雌ヤギ」という意味で、星座絵でもヤギをかかえた男の人が描かれています。



おおいぬ座

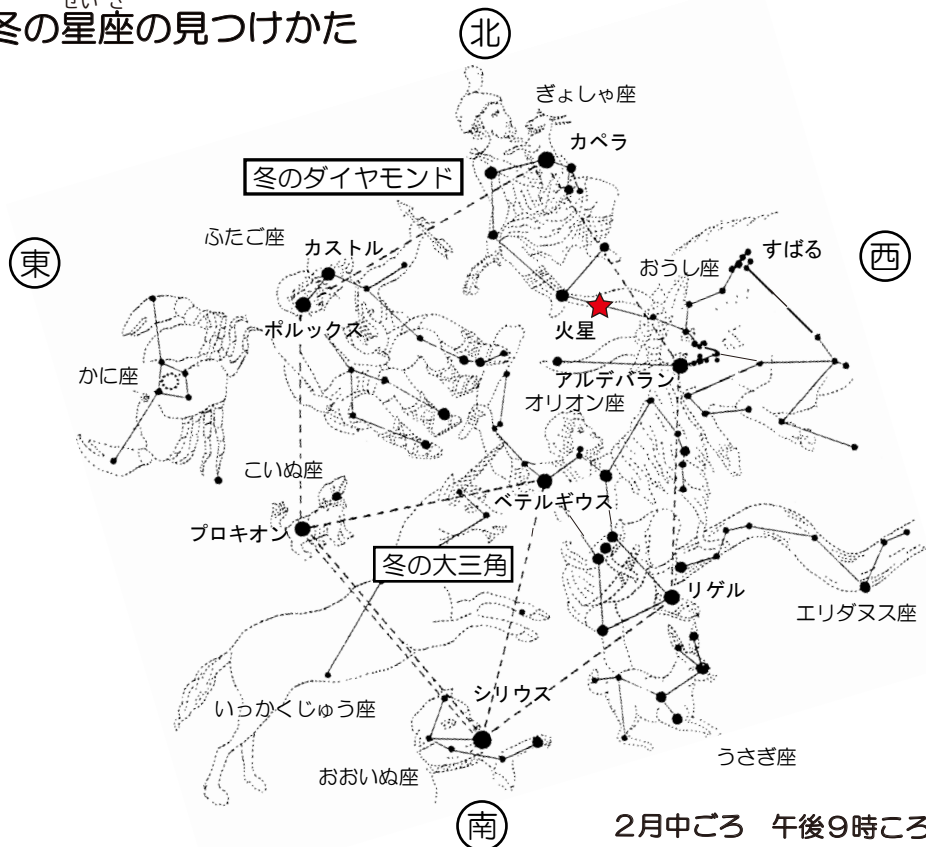
ひときわ明るく、ぎらぎらと輝いている青白い星シリウスが目印です。シリウスは地球との距離が8.6光年と、広い宇宙の中では比較的近くにある恒星です。また明るさはおよそマイナス1.5等と、太陽以外の恒星の中で最も明るく見えます。



こいぬ座

冬の大きな三角を形作る明るい星の一つ、プロキオンが目印です。プロキオンには「犬の前」という意味があり、東の空でシリウスの少し前に昇ってくることからつけられました。こいぬ座とおおいぬ座は、ともにオリオンの猟犬とされます。

冬の星座の見つけかた



- 1 リボンのような形のオリオン座を見つめます。
- 2 オリオン座の真ん中の3つ並んだ星（三つ星）を右上にのばして、おうし座のアルデバランを見つめます。
- 3 今年は、アルデバランの近くに赤く明るい火星が輝いています。さらに火星の北に、カペラと五角形に並んだぎょしゃ座を見つめます。
- 4 オリオン座の三つ星を左下にのばして、冬の星で一番明るく輝くシリウスを見つめます。
- 5 オリオン座のベテルギウス、おおいぬ座のシリウス、こいぬ座のプロキオンで作る「冬の大きな三角」を見つめます。
- 6 ぎょしゃ座の東に、明るい星が2つ並んだふうたご座を見つめます。
- 7 1等星以上の明るさのシリウス、プロキオン、ポルックス、カペラ、アルデバラン、リゲルをつなぐ大きな六角形が「冬のダイヤモンド」です。

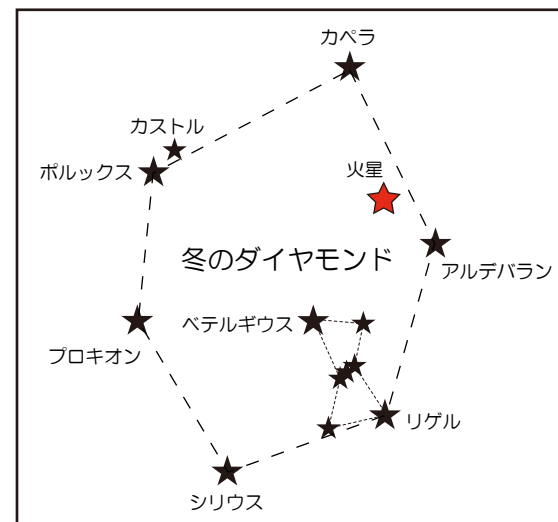
金星と木星の共演

夕方、西の空でひとときわ明るく輝く金星。まだ夕焼けの残る空の中にキラリと光る姿は本当に美しいものです。この金星と木星が日に日に近づいていきます。2つの星が一番近づくのは3月2日ですが、それより少し前の今月後半には、金星と木星のそばに細い月が並びます。刻々と変化する空の色と2つの明るい惑星、そして細い月が織りなす共演をお楽しみください。



冬のダイヤモンドを探そう

冬の星空には1等星以上の明るい星が7つもあります。そのうち、おおいぬ座のシリウス、こいぬ座のプロキオン、ふうたご座のポルックス、ぎょしゃ座のカペラ、おうし座のアルデバラン、オリオン座のリゲルをつなぐ



と「冬のダイヤモンド」のできあがりです。さらに今年はその中に火星もいます。冬は空気が澄みわたり、晴れた夜には星がとてもきれいに見られます。そんなときは冬のダイヤモンドを探してみませんか？実際の星空で見ると、その大きさにきっと驚きますよ。

